

危険物規制の概況

1 危険物施設

(1) 危険物施設数（第4-1表）

令和2年3月31日現在における県内の危険物施設数（完成検査済証交付施設）は、製造所207施設、貯蔵所5,464施設、取扱所2,317施設で、総数は7,988施設となっている。前年度と比較した場合、製造所で2施設減少、貯蔵所で48施設減少、取扱所で18施設減少し、総数で68施設の減少となった。

危険物施設の区分別内訳については、貯蔵所が総数の68.4%を占めており、その中では屋外タンク貯蔵所が最も多い。次に、取扱所は総数の29.0%を占めており、その中では一般取扱所が最も多い。なお、製造所は総数の2.6%となっている。

一方、全国の危険物施設数は、令和2年3月31日現在、総数が394,043施設で、その内訳は、製造所5,028施設、貯蔵所269,171施設、取扱所119,844施設となっている。

(2) 危険物施設数の規模別構成（第4-2表）

令和2年3月31日現在における県内の危険物施設を、その貯蔵し又は取り扱う危険物の数量により区分すると、指定数量の50倍以下の規模のものが全体の61.6%を占め、中でも5倍以下の規模のものが全体の24.5%を占めている。

(3) 危険物取扱者（第4-3表、第4-4表）

県内における危険物取扱者免状の交付状況及び危険物取扱者保安講習の受講状況は、第4-3表、第4-4表のとおりである。

2 危険物に係る事故（第4-5表、第4-6表）

令和元年中の県内での危険物に係る事故件数は27件で、前年の19件からは8件増加している。

事故の内訳は、火災7件、漏えい16件、その他4件となっており、火災は1件増、漏えいは6件増、その他は1件増となった。

第4-1表 危険物製造所等の推移(完成検査済証交付施設)

令和2年3月31日現在

危険物製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所									取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
平成 21 年	8,925	204	6,042	985	2,649	105	949	13	987	354	2,679	1,083	17	7	77	1,495	
平成 22 年	8,747	201	5,913	971	2,630	97	901	13	938	363	2,633	1,053	14	7	75	1,484	
平成 23 年	8,658	205	5,869	966	2,597	94	892	13	946	361	2,584	1,030	14	7	73	1,460	
平成 24 年	8,445	204	5,737	938	2,557	93	829	13	948	359	2,504	1,000	13	7	74	1,410	
平成 25 年	8,385	204	5,704	936	2,530	94	825	13	958	348	2,477	991	13	7	73	1,393	
平成 26 年	8,286	199	5,647	936	2,511	91	808	13	948	340	2,440	969	13	7	74	1,377	
平成 27 年	8,189	201	5,591	928	2,492	90	781	13	952	335	2,397	950	12	7	73	1,355	
平成 28 年	8,117	203	5,537	926	2,480	86	770	12	936	327	2,377	934	12	7	72	1,352	
平成 29 年	8,037	204	5,488	914	2,474	85	754	12	925	324	2,345	916	10	7	71	1,341	
平成 30 年	8,056	209	5,512	922	2,486	82	741	13	928	340	2,335	897	10	7	72	1,349	
令和 元年	7,988	207	5,464	912	2,460	80	729	12	940	331	2,317	890	10	7	71	1,339	
宇部・山陽小野田	1,525	69	1,044	199	512	6	100		184	43	412	109	3	1	4	295	
周南市	2,134	74	1,587	176	900	4	61	6	267	173	473	89		1	48	335	
防府市	539	10	331	87	127	7	56		44	10	198	63			3	132	
下松市	338	3	249	44	46	2	17		132	8	86	44			1	41	
下関市	737	3	474	132	131	28	84	1	66	32	260	132	1	5	2	120	
岩国地区	981	29	728	65	423	6	89	2	120	23	224	80	4		13	127	
柳井地区	355	13	214	36	80	7	58		27	6	128	65	1			62	
光地区	288	3	168	45	57	2	30	1	20	13	117	46				71	
長門市	183		116	22	42	2	30		18	2	67	46				21	
美祿市	250	3	153	26	69	3	27		19	9	94	43				51	
山口市	430		248	50	36	3	124		25	10	182	123				59	
萩市	228		152	30	37	10	53	2	18	2	76	50	1			25	

第4-2表 数量別危険物製造所等の数(完成検査済証交付施設)

令和2年3月31日現在

危険物製造所等の別	県計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
県計	7,988	207	5,464	912	2,460	80	729	12	940	331	2,317	890	10	7	71	1,339
5倍以下	1,954	11	1,485	356	193	44	430	12	384	66	458	76	2		0	380
5倍を超え10倍以下	1,159	17	780	218	193	20	155	0	74	120	362	109	3		0	250
10倍を超え50倍以下	1,804	34	1,179	174	635	16	119	0	127	108	591	252	5	7	0	327
50倍を超え100倍以下	780	23	544	45	266		13		210	10	213	86			1	126
100倍を超え150倍以下	387	11	276	27	127		5		108	9	100	70			2	28
150倍を超え200倍以下	247	7	109	35	57		5		1	11	131	95			0	36
200倍を超え1,000倍以下	793	46	420	25	352		2		36	5	327	202			14	111
1,000倍を超え5,000倍以下	390	29	300	24	274		0			2	61	0			14	47
5,000倍を超え10,000倍以下	154	14	123	6	117		0			0	17	0			9	8
10,000倍を超えるもの	320	15	248	2	246		0			0	57	0			31	26

第4-3表 危険物取扱者免状交付状況(新規分)

区分	合計	甲種	乙種							丙種
			小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
21年度	5,504	188	5,081	615	567	479	2,053	549	818	235
22年度	5,258	184	4,884	636	473	471	2,156	577	571	190
23年度	5,206	198	4,827	601	508	441	2,128	475	674	181
24年度	5,598	166	5,186	681	534	462	2,251	543	715	246
25年度	4,971	190	4,615	618	466	427	1,941	526	637	166
26年度	4,554	191	4,200	547	443	431	1,740	478	561	163
27年度	4,466	179	4,147	492	430	376	1,760	482	607	140
28年度	3,921	154	3,638	483	375	355	1,609	401	415	129
29年度	4,371	159	4,067	517	377	359	1,939	366	509	145
30年度	5,194	197	4,889	694	463	375	2,240	451	666	108
元年度	4,678	183	4,372	546	435	430	1,959	475	527	123

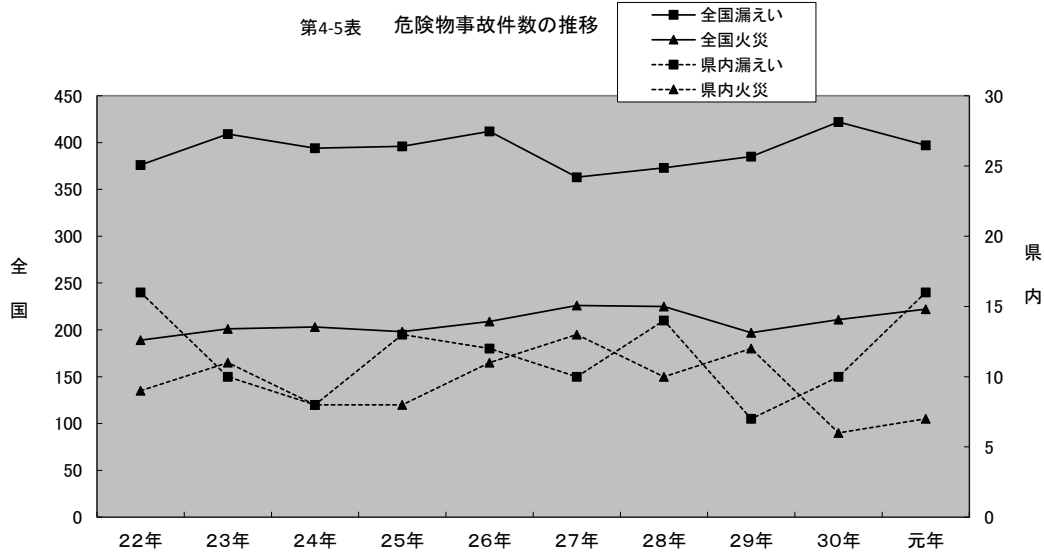
第4-4表 危険物取扱者保安講習の実施状況

区分	受講者数				会場数
	合計	給油取扱所	石油コンビナート	その他	
21年度	5,954	1,402	2,332	1,858	57
22年度	5,592	1,426	2,156	1,814	51
23年度	5,396	1,451	2,361	1,905	57
24年度	5,717	1,341	2,259	1,810	55
25年度	5,410	1,396	2,248	1,823	51
26年度	5,467	1,382	2,415	1,802	57
27年度	5,599	1,319	2,288	1,798	54
28年度	5,405	1,279	2,069	1,931	51
29年度	5,518	1,369	2,321	1,828	57
30年度	5,496	1,283	2,247	1,966	54
元年度	5,566	1,278	2,235	2,053	51

(元年度)

	合計	給油取扱所	石油コンビナート	その他
回数	51	17	15	19

第4-5表 危険物事故件数の推移



第4-6表 令和元年中の危険物施設等の事故概要

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
1	不明 (1月11日 発見)	萩市	流出	給油取扱所	第4類第2石油類 軽油	船舶給油取扱所において、建物内の付属配管(継手部分)の腐食により軽油が漏えいし、建物の扉の隙間から建物外部の護岸上に軽油が漏れ出したもの。建物内及び建物外部に漏れた軽油の量は、約300リットルで、うち約40リットルが海上に流出した。事故後、送油元である屋外タンク貯蔵所の送油配管元バルブを閉じ、吸着マットを使用して海上の軽油を回収し、オイルフェンスを使用しての応急措置を実施する。なお、この取扱所を最後に使用したのは、平成31年1月7日で、特に異常はなかった。
2	1月13日 9時00分	平生町	流出	屋外タンク貯蔵所	第6類酸化性液体 過酸化水素	プラント担当者が雨水を防油堤から抜き出す作業をするため防油堤内を確認したところ、防油堤内の液体に気泡を確認。タンク底板とタンク基礎の隙間からも泡がにじみ出ていることを確認したもの。
3	2月11日 12時30分	山陽 小野田市	火災	一般取扱所	—	数日前から肥料製品を乾燥させるドライヤーの重油ポンプのオイルシールから漏れがあり、重油ポンプ下にペール缶及び吸着マットで受けていたが、燃焼カーボン(赤熱状の固体)が飛び出し、油吸着マットに引火していたのを発見したものである。
4	2月20日 1時35分	山陽 小野田市	火災	一般取扱所	—	バルブの丈定め機で研削中に発生する火花が、堆積した研削カスに着火し、設備内アクリルカバーを焼損した。
5 ※石	2月26日 15時09分	和木町	流出	屋外タンク貯蔵所	第4類第3石油類 重油	屋外タンク貯蔵所の付帯配管を設置されているトレンチ内において滞油しているのを発見、バルブ閉止により漏えいは停止、流出はトレンチ内のみであり、施設外への流出は無かった。滞油は成分分析を行い重油と判明。
6 ※石	3月1日 14時30分	和木町	流出	移送取扱所	第4類第3石油類 重油	移送取扱所において、重油出荷配管の点検中に開孔し、配管内に滞留していた重油が10リットル漏えいし、海上へ約1ミリリットル滴下したものの。
7 ※石	3月14日 10時15分	周南市	流出	製造所	第4類第4石油類 ポリエーテルポリ オール	屋外タンク貯蔵所(D-76)から当該施設の令20号タンク(D-104)に原料を受入中に現場液面計の監視及びポンプ操作を行うべき作業員が他の業務に従事し、監視を怠った間にタンク通気管からオーバーフローしたもの。漏えい発見後、直ちに送液を停止し、バケツ及び吸着マット等にて漏えい危険物の回収作業を実施。
8	3月14日 15時07分	岩国市	破損	移動タンク貯蔵所	—	高速自動車道において、燃料切れで路肩に停車中の移動タンク貯蔵所に大型トラックが追突したものの。
9 ※石	4月22日 11時40分	山陽 小野田市	流出	製造所	第2類 硫黄	硫黄回収装置においてサルファートラップに不具合が生じたため、清掃しようとしたところ、誤って運転中のトラップを開放したため硫黄が流出しました。

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
10	4月26日 15時30分	山陽 小野田市	流出	一般取扱所	第4類第1石油類 廃トルエン	平成31年4月24日、第8号棟(一般取扱所)の20号タンクに貯蔵されている廃トルエンを、廃液焼却場に送液しようとしたところ、バルブ操作を誤り、排水ピットに約100L流出させたものです。流出当時、バルブ操作をした従業員が、廃トルエンを水溶性液体と誤認していたため、処置等はありませんでした。 平成31年4月26日、異臭に気づいた別の職員が、廃トルエン流出を認めため、消防局へ通報し、自衛消防隊による危険物回収作業を実施しました。 被害は敷地内で収まっており、死傷者等ありません。
11 ※石	5月17日 14時12分	山陽 小野田市	流出	一般取扱所	第4類第2石油類 軽油	陸上出荷設備において、移動タンク貯蔵所に軽油を注入中、荷役開始前にタンク内の残液が無確認を怠っていたため、満液となりオーバーフロー防止弁が作動、出荷は停止しました。しかしながら、当該運転手は個人の判断で手動にて防止弁を解除してしまったため、ローディングアーム内の残油がハッチ内に流入、オーバーフローし、約100リットルの軽油が漏えいしました。
12 ※石	6月4日 18時30分	和木町	流出	製造所	第4類第3石油類 CLO(重質油)	製造所において、緊急停止作業中に原料供給ラインのフランジ部から重質油が漏洩したものであり、当該フランジ部の上下流弁の閉止および脱圧により、漏えいは停止、施設外への流出はなかった。
13	7月4日 9時35分 (事後聞 知)	光市	爆発	一般取扱所	—	医薬の製造工程(反応、濃縮、晶出)を終えた晶出液を遠心分離機で分離した後に、遠心分離機下部に付着した医薬品の中間生成物をエアノズル等で掻き出す作業を行った際に、滞留した可燃性蒸気に着火し爆発となったもの。作業者にけが等は無く、爆発により遠心分離機付近に設置されている蛇腹の吸気ダクト及び天井敷設の吸気ダクトが破損した。消防機関への覚知は、当該工場の防災担当者より一般回線で連絡があり、本爆発において死傷者等は発生していない。
14	7月5日 16時30分	下関市	流出	給油取扱所	—	固定給油設備を使用し自動車に給油中、ノズルを差したまま自動車を発進させたため、給油ホースが引っ張られ、固定給油設備が破損転倒したことにより、固定給油設備内の危険物が流出した。
15 ※石	7月30日 4時00分	和木町	流出	製造所	—	危険物製造所内の屋外貯蔵タンクの底部から潤滑油(指定可燃物)が漏えいした。タンクの内容物については、別のタンクへ移送し、移送後の残液については、希釈した後、バキューム車にて払出しを行った。
16 ※石	8月28日 9時14分	和木町	流出	移送取扱所	第4類第3石油類 A重油	危険物移送取扱所において、屋外貯蔵タンクから船舶へA重油を荷役中に船舶のハッチからオーバーフローし、甲板及び海上に流出した。
17 ※石	8月28日 19時45分 (事後聞 知)	宇部市	火災	製造所	第4類第1石油類 酢酸エチル	金属製バケツ(容量:50リットル)に酢酸エチルを20キログラム抜き出した後に別途中間槽へ仕込む作業(製品製造前の事前準備作業)を行う前に、金属製バケツを洗浄するため、酢酸エチルを2リットル抜き出した直後、金属製バケツ内で火災が発生し、作業者の甲部右手指先4本、左手指先3本を火傷(Ⅱ度熱傷)したものです。
18	9月2日 8時10分	防府市	流出	一般取扱所	第4類第3石油類 シランカップリング 剤	一般取扱所内で、添加剤補充のためエコバルクをフォークリフトで運搬していたところ、操縦を誤り、急ブレーキを掛けた際に運搬中のエコバルクが落下し、エコバルク固定場所の角部分と接触し破損したため、危険物約450リットル(第4類第3石油類)が流出した。応急措置として、危険物はウェス等に吸着させたほか、関連設備の停止を実施した。なお、危険物施設外への流出はありません。
19 ※石	10月16日 13時21分 (事後聞 知)	周南市	火災	屋外タンク貯 蔵所	—	配管にバルブを取り付ける工事を実施するため、配管内の危険物(20%ノルマルブチルリチウム/シクロヘキサン溶液)除去作業を実施した。その後に機器の撤去作業を行っており、一時的にフレキシブルメタルホースを緑地帯に置いていたところ、内部に残っていた危険物(20%ノルマルブチルリチウム/シクロヘキサン溶液)が漏出し緑地帯を約1m焼損した。

No.	発生日	発生場所	事故種別	製造所等の別	危険物の品名	事故の概要
20	不明 (10月25日 発見)	下関市	流出	移送取扱所	第4類第3石油類 重油	危険物移送取扱所の燃料油受入系統試料採取ポンプ入口配管から重油が漏洩したものの。
21 ※石	10月29日 18時46分	宇部市	火災	一般取扱所	—	本施設1階に設置されているSPファン速度制御装置が不具合により停止したため、当該制御装置の変圧器を取替ました。その後、再度、SPファンを再起動したところ、上記速度制御装置が緊急停止し、変圧器内の取替を行った部分から煙及び異臭がしたものです。
22 ※石	11月15日 10時35分	宇部市	火災	一般取扱所	—	令和元年11月15日の10時16分頃、施設の定常運転中において、水洗塔塵ガスブロワーから異音が発生していることを付近を通行した社員から報告があったものです。 その現場確認を行った結果、当該設備から異音、振動、煙が発生していたため、当該設備を停止して整備が必要と判断したものです。 その後、設備を停止するまでの間、現地確認を継続していたところ、当該設備の軸受け部からの出荷を確認したため消火活動を行ったものです。
23 ※石	11月21日 15時32分	宇部市	その他	製造所	—	施設の定常運転中において、No.2弗素化反応器の窒素導入ラインの自動弁(KV-1332-04)の反応器側フランジ部分からフッ化水素及び塩化水素を含有したガスが漏えいしたものです。
24 ※石	11月23日 16時30分	和木町	流出	製造所	第4類第1石油類 ポリマー溶液(ヘキサ ン等)	製造所において、運転員がバトロール中に脱モノマー塔から静置ドラムへの送液配管よりポリマー溶液(ヘキサン等)が漏えいしていることを発見したものであり、直ちに直近のバルブを閉止するとともに、装置を緊急停止したことにより漏えいは停止したものの。漏えい量は27.6リットルであり、施設外への流出はなし。
25	11月29日 5時43分	下関市	火災	一般取扱所	—	溶鋼の鑄込み完了後、鑄型注ぎ口に置いてあったボールカップを治具で移動させ外そうとした際、外しきれずに元の状態に戻り、溶鋼が跳ね作業中の男性従業員の作業服ポケットに入り着衣に着火したものの。
26	12月14日 0時30分	下関市	破損	給油取扱所	—	給油取扱所内において重機運搬車両が給油後、給油取扱所敷地内に駐車するため発進し、右にハンドルを切った際、オーバーハングにより、車両左後部を固定給油設備(軽油)の給油ノズル、ホース及びアドブルー補給機に接触させ破損したものの。
27	不明 (12月19日 発見)	下関市	流出	屋外タンク貯蔵所	第4類第3石油類 重油	屋外タンク貯蔵所に附属する移送ポンプの圧力検出配管の保温材施工不良により配管が腐食し、重油が流出したものの。